

日本の定期/任意予防接種スケジュール2005年(1~3月)

		出生時	3カ月	6カ月	9カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	25~	60~	65~	
予 防 接 種 法	定期一類疾病予防接種		↓	↓																													
	ポリオ(経口)		■	■	■	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	
	*1 DPT I期 DT II期	DPT	■	■	■	■	■	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	
	麻疹(はしか)					■	■	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	
	風疹					■	■	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	
	日本脳炎								■	■	■	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	
定期二類	インフルエンザ																															毎年1回	
結核予防法	BCG (ツ反陰性の場合)		↓	■	■	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	
任 意 接 種	インフルエンザ																															毎年2回(1~4週間隔)	毎年1または2回(1~4週間隔)
	水痘 おたふくかぜ (流行性耳下腺炎)																																
	B型肝炎																																4週間隔で2回、20~24週を経過した後に1回、合計3回接種
	A型肝炎																																2~4週間隔で2回、24週を経過した後に1回、合計3回接種

↓ 接種 ■ 通常接種が行われている年齢 □ 接種が定められている年齢 □ 接種年齢 □ 母子感染防止事業

*1 D:ジフテリア、P:百日咳、T:破傷風を表す。
 *2 60歳以上65歳未満の者であって一定の心臓、腎臓若しくは呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障害を有するもの
 *3 妊娠中に検査を行い、HBs抗原陽性(HBe抗原陽性、陰性の両方とも)の母親からの出生児は、出生後できるだけ早期及び、生後2ヶ月にHB免疫グロブリン(HBIG)を接種、ただし、HBe抗原陰性の母親から生まれた児の場合は2回目のHBIGを省略しても良い。更に生後2,3,5カ月にHBワクチンを接種する。生後6ヶ月後にHBs抗原及び抗体検査を行い必要に応じて任意の追加接種を行う(健康保険適用)。